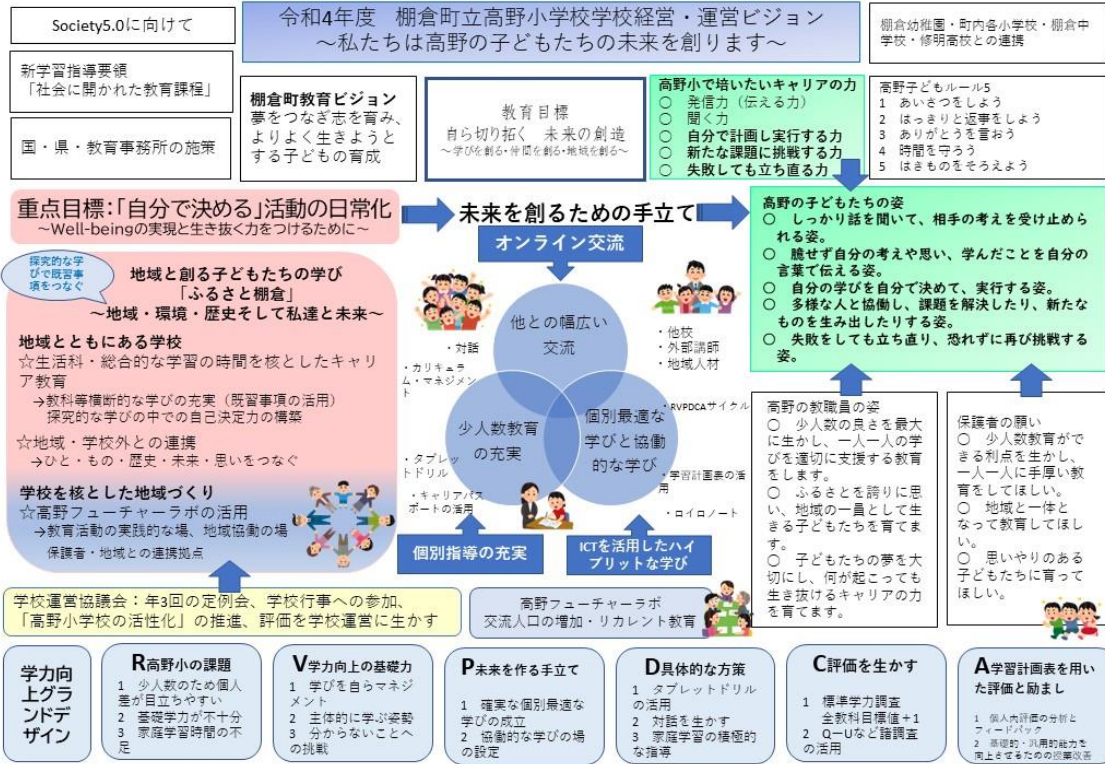


# 学習の基盤となる資質・能力の育成に向けた研究

令和4年度 教育目標「自ら切り拓く 未来の創造」

～学びを創る 仲間を創る 地域を創る～

令和4年度 重点目標「自分で決める」活動の日常化



## ◇令和3年度の成果

「タブレットの文房具化」での思考の可視化や ICT 危機を活用したオンライン交流等による自己理解やコミュニケーション能力の育成ができ、育てたい資質・能力の「人間関係形成・社会形成能力」を高められた。カリキュラム・マネジメントの視点で、月指導計画を用いたショートスパンの評価・改善、教科横断的な視点での指導計画のシンプル化などを、ICT 機器を活用して進めることができた。また、コミュニケーション能力の育成において、ICT 機器や地域の人的、物的資源を活用して「協働的な学び」を進めることができた。

## ◇令和4年度の研究内容

- 小規模校の児童数の急激な減少という課題解決に向けて、カリキュラム・マネジメントの視点で、「自己理解・自己管理能力」「人間関係形成・社会形成能力」を育成する手段としての ICT 活用と地域との協働を更に進め、検証する。
- ICT 機器や活用するアプリの選択、オンライン交流の工夫、情報活用能力と育てたい資質・能力とを関連づけた育成など、指導法を検討する。
- ICT 機器を活用したキャリアカウンセリング等、対話的な関わりによる資質・能力の育成を進める。
- 各種の調査結果の経年変化から、取り組みの有効性を検証する。

# RVPDCAサイクルの見直し

本校では、年間を通して使用するキャリアパスポートと四半期ごとのキャリアパスポート、そして毎日使用する自己マネシートを連動させて使用できるようにした。毎日の自己マネシートの形式は、学校で検討し、児童と教師が共通理解の元で使用することとした。さらに、今年度の重点目標である「自分で決める」を自己マネシートで毎日実践するようにした。RVPDCA サイクルと四半期ごとのキャリアパスポートを連動させることで効果があがった。四半期ごとのよさは、児童が「できた」という達成感を得られやすく、次の目標へとステップアップしやすいところにある。

- ①R：今の自分を知るために得意・苦手をチェックさせ、自分のよいところ、苦手なところを明らかにさせた。【資料1】
- ②V：将来どのような人になりたいかを含めて、夢や希望をもたせた。【資料2】
- ③P：RとVを元にしてなりたいたい自分を決めさせた。そのために自分がすることも具体的に書かせた。  
自分で決めてがんばりたいことを書かせた。  
担任と保護者からのコメントを入れた完成シートを、自己マネファイルに綴らせた。
- ④D：各行事等で成功させるためにめあてを持たせ、自己評価及び、担任からの評価を積み重ねていくこととした。
- ⑤C：自己マネタイムを日課表に位置づけ、毎日自己マネシートで家庭学習の計画を立てさせることにした。【資料3】  
自己マネシートへ保護者も毎日目通しをし、子どもの取り組みの過程や頑張りを認め、励ましてくれるよう4月のPTA総会時に依頼し協力を得た。
- ⑥A：毎日の家庭学習をどのように行った結果、次の週はどうするのかを考えたり、宿題や家庭学習だけでなく、学校生活を見直したりして、次につなぐ。

【資料1】得意・苦手チェックシート

【資料2】キャリアパスポート

The image displays two educational materials. On the left is a '得意・苦手チェックシート' (Strengths/Weaknesses Checksheet) with a grid for students to rate their skills. On the right is a 'キャリアパスポート' (Career Passport) form with handwritten student responses. A red circle highlights the 'Pプラン' (Plan) section of the passport, and a red arrow points from the '得意・苦手' section of the checksheet to the '自分を見通す自分' (Know your own strengths/weaknesses) part of the plan.

**得意・苦手チェックシート**

6年生 新しい学年が始まりました

自分のよいところ  
家でのルールや苦手を忘れないこと  
正解を復習すること  
苦手なところ  
失敗を恐れず挑戦すること

学校スローガン  
友達で取り組み みんなでやる 明るさを  
高野 子

学年スローガン  
一斉団結 自分で考え、見通そう！ 失敗を恐れず  
挑戦しよう！

V ビジョン めあてを立てる

将来の夢や希望、どんな人になりたいか。  
建築士、みんなを助けて、だからのびにたてる人

○なりたいたい自分

P プラン 計画する

先を見通す自分  
自分  
自分

そのためにすること  
今回は何をやるのかを確  
定して、どんな風に進  
めるかもある。(委員会など)

自分から考え、おかげで  
できるようになるかおまかせする。  
それが委員会など、他学年  
の子に自分がいいことをおまかせする。

その他に自分で決めてがんばりたいこと  
家の手伝いが、三つくらいかを1つのおまかせを増やす。  
スイングでコーナの言葉をよく聞きテストに合格できるようにする。

先生から  
「自分で自分をよく知る、そのためにどんな  
ことができるか具体的に思いつくまで  
まねね。だからおまかせは答えがわか  
らないのがいい。一緒にがんばりましょ。」

家の人などから  
人は誰かから教えてもらってやるから、  
自分で考えてやる。その考えを  
おまかせする。おまかせしていい  
おまかせしていい。  
おまかせしていい。  
おまかせしていい。

⑤自己マネシート 【資料3】

なりたい自分から目標を決める

☆第1四半期(4~6月)「たえんが自学をしっかりと計画をたててがんばる」

	5月9日(月)	5月10日(火)	5月11日(水)	5月12日(木)	5月13日(金)	<今週がんばったこと>	
予定	運動会準備③	鼓笛練習③ 委員会活動④	プール清掃⑥	おにぎり給食	運動会練習 材料金部へ	たえん練習	
明日の持ち物		清掃の服 プール	プールのタオル おにぎり	ハイカットカズ の靴	汗拭き⑤		
音読	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会の言葉	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会の言葉	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会の言葉	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会の言葉	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会の言葉	<週末の学習計画>	
習			<input type="checkbox"/> 漢2 <input type="checkbox"/> 国カ② <input type="checkbox"/> 計①	<input type="checkbox"/> 漢2 <input type="checkbox"/> 計②	<input type="checkbox"/> 漢直し <input type="checkbox"/> 計①②③④ <input type="checkbox"/> スラッポ		
自学	算教乱写	算復習⑩	計復習				
学習時間(分)	80分	95分	73分				
ふり返り	たえんが自分で自信を持って書けた。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。6年生ががんばる姿、おもしろい。	休み時間、お友達と遊ぶのが楽しかった。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	たえんが自分で自信を持って書けた。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	たえんが自分で自信を持って書けた。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	たえんが自分で自信を持って書けた。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	たえんが自分で自信を持って書けた。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	運動会の言葉
保護者サイン	母	母	母	母	母	<家庭より> 運動会に向けて応援隊長として最後の運動会頑張るね!!と家内	
学校・家庭連絡欄	6年生ががんばる姿、おもしろい。下級生もがんばる姿、おもしろい。					いい週間になりました!!	

自分で学習内容を決めて取り組む

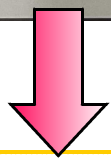
自分で決めためあてに対してのふり返りを書く

担任からはめあてに対するコメントを短い文で記入している。

保護者に協力を依頼し、子どもの頑張りを認め励ますコメントを書いて頂く。

☆第1四半期(4~6月)「自分かやるべき事をきちんと確認」

	5月16日(月)	5月17日(火)	5月18日(水)	5月19日(木)	5月20日(金)	<今週がんばったこと>	
予定	3月課 係児童打ち合せ	②運動会練習	③こぼれ練習 社会科④校外習 習科目	③運動会(練習)	③こぼれ練習 校外習(練習)	運動会 練習!!	
明日の持ち物	国語		エプロン③巾着	私服(動きやすい服) スリッパ⑤	シューズ⑤ 入水⑤ ジャンプ板	全力でやりました。	
音読	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会 応援	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会 応援	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会 応援	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会 応援	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会 応援	<週末の学習計画> 作文	
宿題	<input type="checkbox"/> 国語プリント <input type="checkbox"/> 漢2 30分算数 <input type="checkbox"/> 計③ スラッポ25	<input type="checkbox"/> 漢字27 <input type="checkbox"/> 国カ21 <input type="checkbox"/> スラッポ20	<input type="checkbox"/> 漢字17 <input type="checkbox"/> 計⑤10 <input type="checkbox"/> 計④15	<input type="checkbox"/> 漢字27 <input type="checkbox"/> 国カ17,18,19 <input type="checkbox"/> 作文「運動会」	<input type="checkbox"/> 国直し3 <input type="checkbox"/> スラッポ30 <input type="checkbox"/> 作文「運動会」		
自学	国語15	社会20	算教20	算教15	自由		
学習時間(分)	55分	60分	45分	50分	38分	合計	
ふり返り	今日は係児童打ち合せが楽しかった。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	今日は運動会練習が楽しかった。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	今日は校外習が楽しかった。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	今日は運動会練習が楽しかった。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	今日は最後のこぼれ練習が楽しかった。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	今日は最後のこぼれ練習が楽しかった。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	見直し しせい 返事
保護者サイン						<家庭より> 小学校最後の運動会、たえんもがんばる姿、おもしろい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。	
学校・家庭連絡欄	たえんが自分で自信を持って書けた。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに読んであげたい。					いい週間になりました!!	



自分にとって今何が必要なのかを考え、自分で自主学習内容を決めることができるようになってきた。

自分を見つめ日々よりよく成長しようとする児童の姿

# ICTを活用し年度をまたいで資質・能力を育てるしくみ

令和4年度から教育目標が変わるため、教育目標に合わせた児童スローガンを児童主体で3月から考えることとした。3月、5年生の時点から核となり活動してきた。また、進級した4月からは運動会で行う応援合戦のために6年生が文言を考え、2～5年生をリードしてきた。なお、令和4年度の重点目標は「自分で決める」である。

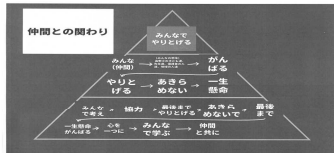
年度は3月と4月の間に切り替わるが、持続的な児童の成長を考え、前年度と本年度をつなぐことを意識し、カリキュラム・マネジメントと並行して児童の資質・能力も伸ばしていけるように配慮した。ICTの活用で「つなぐ」活動は容易であった。

## 《学校の取り組み》

### ◎令和4年度一年間掲げて取り組むスローガンを作ろう（国語科）



各学年の話し合いの結果をもとに、5年生がロイロを使って意見交換をして集約。スローガンを決定した。（春休み中）



新年度を迎え、6年生が令和4年度の学校スローガンを発表した。その際、話し合いの経過をズームを使って全校生に配信した。（国語科）



### ◎運動会を成功させよう

（学級活動・学級の時間）



紅白応援合戦練習計画作成（学級の時間）



## 《児童の変容》

話し合いの際は傍観者的な態度の児童であったが、セカンドスクール後は徐々に自分の意見が言えるようになってきた。（担任による評価）

### 児童の言葉より

スローガン作りでは自分たちに足りない物を中心に、意味の似た言葉をまとめることができた。5年生の時と比べると、ぼくは自分のことをよく見つめられるようになった。

発表スライド作りを班のメンバーと話し合いながら行うことができた。論理的思考ができるようになってきた。

発表本番に向けて、日数等の見通しをもって練習に取り組み、発表本番では練習の成果を発揮することができた。

（担任による評価）

5年生の時は人前に出ると焦ってしまって上手くいかないことが多かった。今は、本番を成功させるためにいつまでに何をすればよいのかを見通し、計画的に進めることで、人前でも焦らなくなった。

応援団長となり友だちと先の見通しをもった練習計画を立てることができた。

下級生に自分の真面目にがんばる姿を示すことが大事と考え、先に本児がやって見せることができた。

（担任による評価）

ぼくは次に何をしたらよいか見通しを持ってたし、自分で考えてやりとげる力、自分には何が足りないのかをアンケートで知って、自分を見つめる力がついてきたと思う。

自分で決め、見通しをもって取り組む姿

## RVPDCAサイクルを活用して自己の課題を見つめる児童

令和4年度から高学年の仲間入りをした5年生は、6年生の姿を目標にして日々の学習や学校行事に取り組んでいる。第1四半期の初めは、中学年の気分が抜けない5年生であったが、キャリアを意識した学習や運動会、創立記念を祝う子ども祭、各委員会活動などを通して、少しずつ自分の課題を意識し成長してきた5年生である。

S.Y 児は自分に自信がなかなかもてず、自分から人前に出ることのない児童であった。4月からキャリアシートを活用して本児の足跡を残し、それに対して担任が本児の取り組みを褒め認めるコメントを多く入れてきたところ、次第に自分の取り組みに自信がもてるようになった。また、自主学习で自分の弱点を強化しようと努力する姿に変わってきた。

### 《5学年の取り組み》

#### ◎「高野知ってる?! O×クイズ」

(総合的な学習の時間)

5年生が企画し全校生や地域の方々を巻き込んで行う種目を作った。

人数が減少している高野地区を運動会を使って盛り上げたいと考えた。

児童が必要な係を考え、2~3人で仕事を分担した。



#### ◎子ども祭を成功させよう

(学級活動・学級の時間)



#### ◎先を見通した自主学习の取り組み

(自己マネカード)

6月のキャリア教育意識調査から

6月の時は、全体的に自己評価が低く、(9)「分からないところやもっと知りたいことがあった時、調べたり人に聞いたりしている」

(11)「勉強するとき、自分で考えて計画を立てている」が特に低かった。

### 《児童の変容》

自分から進んで人前に出ることが得意でない児童であったが、学級で企画し自分たちで仕事を分担した所、どのように説明したり動きを付けたら伝わるのかを考えるようになった。(担任による評価)

児童の言葉より

ぼくは、自分で立てた目標「友だちと協力し、最後まであきらめずに全力で頑張る」という目標に向かって全力で頑張れました。O×クイズでは、みんなと協力して大成功を収めることができたのでよかったです。みんなで協力すること、あきらめないことを生活に生かしていきたいです。

児童の言葉より

自分で考え、ピンポンカップインがいいんじゃないかと意見を言うことができ、これに決まったときはうれしかったです。

今日まで頑張ってピンポンカップインを作ってきてよかったな—と思いました。それから、みんなと協力して商売ができたのもよかったです。

担任のコメント

「ピンポンカップイン」の意見を出してみんなを納得させたこと、計画を立てて完成させたこと、お客さんを喜ばせることができたこと、たくさんの力がつきましたね。

夢や目標に向かって勉強を頑張ることができた。自分で目標や学習内容を決めて勉強に取り組むことができた。音読は苦手だから、毎日取り組んで読めるようにしたい。

担任のコメント

第1四半期の後半では計画を立てて勉強することができるようになってきましたね。続けてがんばっていきましょう。

と、励ましている。

### 第3 四半期のキャリアパスポートから

★ 自分は変わったかな：矢印のかくどは自分のかんか度でめてくださいな。

ステップアップの具合を矢印の向きで表そう	矢印	ステップアップしたところ・りゆう
○目標達成に向かう力	→	「やらに取組むおなごさんしごきたげ目標を立てて勉強できた、この目標達成
○自分で考えて計画を立て、実行する力	→	「おてつだいはできたけいけい画を立しうねがかったじふ。
○自分をみがく力	→	「その日かてもその日のうちにふり返ふり返にしたい。
○勉強の習慣化	→	「宿題をばい取り組んで自分でできたからよかったじふ。
○規則正しい生活をする力	→	「毎日の時間なごめてたし朝ごめをちんてたてました。
○人とよりよく関わろうとする力	→	「相手の気持ちを考えたいじふ。

★ 第4 四半期にがんばりたいことは何ですか。

「計画を立てるじふ。  
その日のうちにふり返るじふ。  
相手の気持ちを考えるじふ。  
自分の目標に向かうじふに努力できるじふ。とこまはいい第3 四半期でじふ。  
勉強の習慣化や時間の使い方がしつかりできたので、何に対しても自信をもて取り組むじふ。  
第4 四半期は... 立てた目標に向かうじふに努力できるじふ。とこまはいい第3 四半期でじふ。  
勉強の習慣化や時間の使い方がしつかりできたので、何に対しても自信をもて取り組むじふ。  
第4 四半期は... 立てた目標に向かうじふに努力できるじふ。とこまはいい第3 四半期でじふ。  
勉強の習慣化や時間の使い方がしつかりできたので、何に対しても自信をもて取り組むじふ。」



セカンドスクール

その日のことをその日のうちに振り返るようにしたい。  
計画を立てられなかったから、立てるようにしたい。  
相手の気持ちを考えて話したい。

「セカンドスクール」では、毎日振り返りの時間が夜に設定されていた。そのよさを基にした反省や次への目標が述べられている。

第4 四半期 (1-3月) 「学力テスト」にむけてがんばる

	月4日(月)	月7日(火)	月10日(木)	月13日(土)	月16日(日)	月19日(火)	月22日(金)	月25日(日)	月28日(水)	月31日(土)
予定										
持ち物										
授業	100-110	110-120	120-130	130-140	140-150	150-160	160-170	170-180	180-190	190-200
学習	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
自由										
時間	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分
めあて	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる
振り返り	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか
評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学習	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
自由										
時間	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分
めあて	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる	自分の目標を立てる
振り返り	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか	自分の目標を立てたか
評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

担任のコメント  
勉強の習慣化や時間の使い方がしっかりできているので、何に対しても自信をもって取り組むことができました。がんばりましたね。〇〇くんの強みがどんどん増えていくよう応援していきますね。

自分の苦手なところをできました。  
間違ったところができました。  
来週は学力テストなので頑張りたい。  
来週の目標として、「自分で考えて行動する」こととしている。

- 1 1月のキャリア教育意識調査
- (9) 「分からないところやもっと知りたいことがあった時、調べたり人に聞いたりしている」
- (11) 「勉強するとき、自分で考えて計画を立てている」も含め、「できている」と自己評価が上がった。



「自分で考えて行動する」という目標には理由がある。6年生から代替わりして、自分たちが学校を引っ張っていく番だからだ。

3年生を送る会では、5年生の代表の挨拶の役を務めた。「緊張する」と始まる前は話していたが、堂々と発表する姿にたくましさを感じた。

この児童も担任との対話の中で、資質・能力を高めることができた。一人一人とじっくり向き合い、それぞれの児童に寄り添えることは本校の強みである。

**自信をもって活躍する頼れるリーダーに！**

## 4 半期制のサイクルで資質・能力を伸ばした児童

B児は、4年生が中心となった行った「こども祭り」で副実行委員長を務めた。ICTを活用し、各学年から出店する内容を取りまとめ、調整を図り、準備をスムーズに進めることができた。リーダーとしても活躍できる児童だったが、調整をとる役目を果たすことでフォロワーとしての資質も伸ばすことができた。

<こども祭りの様子>



B児のおかげで、各学年のショップ(お店)がかぶらないように調整を図り、それぞれの学年がスムーズに準備をすることができた。

6月のキャリア教育意識調査から6月の時点では(10)「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」や(11)「勉強するとき自分で考えて計画を立てている」が他よりも低かった。

目標を達成できたから次は難しいのに挑戦できた。漢字テストの練習をたくさんして100点を取れた

進んで取り組み、みんなでやりとげる、明るく元気な高野っ子

こども祭りで ステップアップ大作戦

名前 ( )

★こども祭りで、どんな力をのばしたいかな？

お客様にやさしくあげる力

★キャリアの力はステップアップできたかな

ステップアップの具合を矢印の向きで表そう	ステップアップしたところ
○自分で意見を出したり、自分で決めたりすることができたか。	自分たちで決めたことについて決断したりすることができた。
○自分のやくわりを知り、これから先のことを考えながら計画を立てることができたか。	自分がやるべきことをやり終えてから、後輩のやるべきことをした。
○今まで学んできたことをいかにして、進んで取り組みさいごまでやりとげようとしたか。	進んで、いろいろなことをやり終えてから、後輩とやりとげた。
○友だちとよく話し合いながら、協力して活動することができたか。	一緒にやる時に、みんなが協力した。

★子ども祭りで学んだことは、これからどんなところにいかそうと思いますか。

子ども祭りで学んだことは、いろいろなことに挑戦したり、友達と協力してやること、そして、いろいろなことに挑戦したり、友達と協力してやること、そして、いろいろなことに挑戦したり、友達と協力してやること。

これから変な気持ちにならないで、いろいろなことに挑戦したり、友達と協力してやること、そして、いろいろなことに挑戦したり、友達と協力してやること、そして、いろいろなことに挑戦したり、友達と協力してやること。

こども祭りで得た力  
あきらめないでやる力  
学習に生きる

★自分は変わったかな？矢印の向きで表そう。

ステップアップの具合を矢印の向きで表そう	矢印	ステップアップしたところ・リ妙
○目標を立てて取り組み、	↑	自分たちがやるべきことをやり終えてから、後輩のやるべきことをした。
○計画を立てて行動する。	↑	100点をとりとれた。
○自分をみがく	↑	漢字テストで満点をとった。
○勉強の習慣	↑	毎日6時から10時まで勉強した。
○規則正しい生活	↑	毎朝6時から10時まで勉強した。
○人との関わり	↑	友だちと協力してやること、そして、いろいろなことに挑戦したり、友達と協力してやること。

★第3・4半期にがんばりたいことは何ですか。

毎日勉強して、100点をとりとれた。

今、自分がやるべきことをやり終えてから、後輩のやるべきことをした。

毎日6時から10時まで勉強した。



<茨城県東小沢小学校との交流>

なんでもチャレンジした。自分の意見も言えたり人の意見も聞けた

第4四半期にがんばりたいこと

分からなくてもあきらめずにやる。5年生に向けて4年生以下のお手本になる。言われる前にやる。

11月のキャリア教育意識調査では、  
 (10)「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」2→1  
 (11)「勉強するとき、自分で考えて計画を立てている」3→1と大きくジャンプした。高学年になることを意識し、さらにリーダー性を発揮している。



担任のコメント

努力したことが自分の武器になるんですね。授業中は先生の問いかけに自分なりの考えをもち、たくさん発表することができました。4年生だけでも学ぶ力もついてきています。すてきなところがいっぱいです。

10月～12月 第3四半期

★自分は変わったかな：矢印のかくどは自分のかくたくできてくださいね。

ステップアップの具合を矢印の向きで書こう	矢印	ステップアップしたところ・りゆう
○目標を立てて取り組む。	↑	毎週家庭学習を50分以上やる
○計画を立てて行動する。	↑	習い事があるから情がこもる
○自分をみがく	↑	なんでもチャレンジしたこと
○勉強の習慣	↑	家庭学習を50分以上やる 早く寝る習慣を身につけた
○規則正しい生活	↑	休みの時間に家族とゲームをした。
○人との関わり	↑	自分の意見を言えたり人の意見も聞いた。低学年にプレゼント

★第4四半期にがんばりたいことは何ですか。

わからなくてもあきらめずにやる  
 5年生に向けて4年生以下のお手本になる  
 言われる前にやる  
野球はスイング、刺繍は毎日やるのがいい、商売は必ずや、てくし  
 刺繍も早く仕上げることややるのがいい、いつも練習して、お礼は必ずやること。  
 「お礼は必ずやること」を覚えて、お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、  
 お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、  
 お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、  
 お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、お礼の言葉も覚えて、

担任のコメント

やるべきことをしっかりやって、友だちとの話し合いもできて、低学年にも優しくできて、高学年への準備ができてきていますね。これからもなんでもチャレンジして、どんどのびていこうね。

担任と児童の対話が呼応しており、児童が自分のよさを認識する手がかかりとなっている。



## 自己マネシートを活用し、見通しをもてるようになった児童

運動会では、自ら立候補して応援団長になり、自信をもてるようになり、活動的になった児童の1年間の様子である。

< 6月のキャリア教育意識調査 >

5月の運動会のすぐあとのキャリア教育意識調査では、  
(8)自分にはよいところがある  
(10)難しいことでも失敗を恐れ  
ないで挑戦している  
の項目がそれぞれまだ低かった。



○総合的な学習の時間  
6月アンケートの記載から

「自分の知らないことについて学習できるし、これからの福島のことについても自分の思いを伝えたい」から頑張りたいと意欲を述べている。

< 11月のキャリア教育意識調査 >

6月の時には、まだ数値に表せず、自信のないところもあったが、この頃になると  
(8)自分にはよいところがある  
(10)難しいことでも失敗を恐れ  
ないで挑戦している  
の項目はどちらも「1…よいところがある」「1…挑戦している」と最高の評価に迷いなく、自己評価できるまでになった。

たくさんの行事を  
とおして成長



応援団長として  
牽引

学習発表会では自分たちが伝えたいことを伝えられるように自分たちで台本なども作成した。



<1年間書きためた自己マネシートから>  
10月～12月のキャリアパスポート

★自分は変わったかな：矢印のかくどは自分のかんかくできてくださいね。

ステップアップしたところ・リゆう	
今自分の何ができていないのかを考えてきました	自分の学習の目標を立ててそれを実現することができ、今自分の何ができていないのかを考えてきました。
〇計画を立てる。	→ 月ごとの目標を立て、それを週ごとの計画に落とし込んで実行しています。
〇自分をみかく	→ 積極的という部分では積極的に伸びますが、得意な部分と苦手な部分をはき分けて、得意な部分で自信をつけるようにしています。
〇勉強の習慣	→ 家で勉強の時間が増えても、なるべく毎日やる習慣を身につけたいです。
〇規則正しい生活	→ いつも通りに早起きはしていますが、決めた時間を守れるようにしています。
〇人との関わり	→ いつも相手の話を聞いていて、話しているときもしっかりと話を聞いています。

★第4半期にがんばりたいことは何ですか。

いつもいろいろをセカリ 替えをする。

キャリアパスポートが毎日の自己マネシートに連動している

☆第4半期（1～3月）						
今は何の日時間をかせセカリ替えして行事がある。						
	1月1日(月)	1月7日(日)	1月14日(日)	1月21日(日)	1月28日(日)	2月4日(日)
予定	...	...	...	...	...	...
明日	...	...	...	...	...	...
学習	...	...	...	...	...	...
宿題	...	...	...	...	...	...
自学	...	...	...	...	...	...
ふり通り	朝に...	朝に...	朝に...	朝に...	朝に...	朝に...
担任	母	母	母	母	母	母
学校・家庭連絡	...	...	...	...	...	...

自分は今動画班で何ができて、できていないのかを考えて、できるようにしたい

自分でも伸びを実感している  
・**「積極的」**という部分でかなり自分をのびすことができた。  
なかなか苦手な部分をなくするのは大変ですが、少しでも自分の力を増やせるようにしたいです。  
中学校に引き継ぐ自分発見シートには「今まで続けてきた**積極的**なところががんばれ」と書いた。

担任からのコメント  
責任感にあふれさまざまな場面で大活躍でしたね。先のことをよく考えて行動できていると思います。卒業までさらに高みを目指して、レベルアップしていきましょう。

担任のコメントが参考にして次に繋いでおり、対話の大切さが実感できる。また、児童ののんびりを同じ視点で保護者も賞賛。

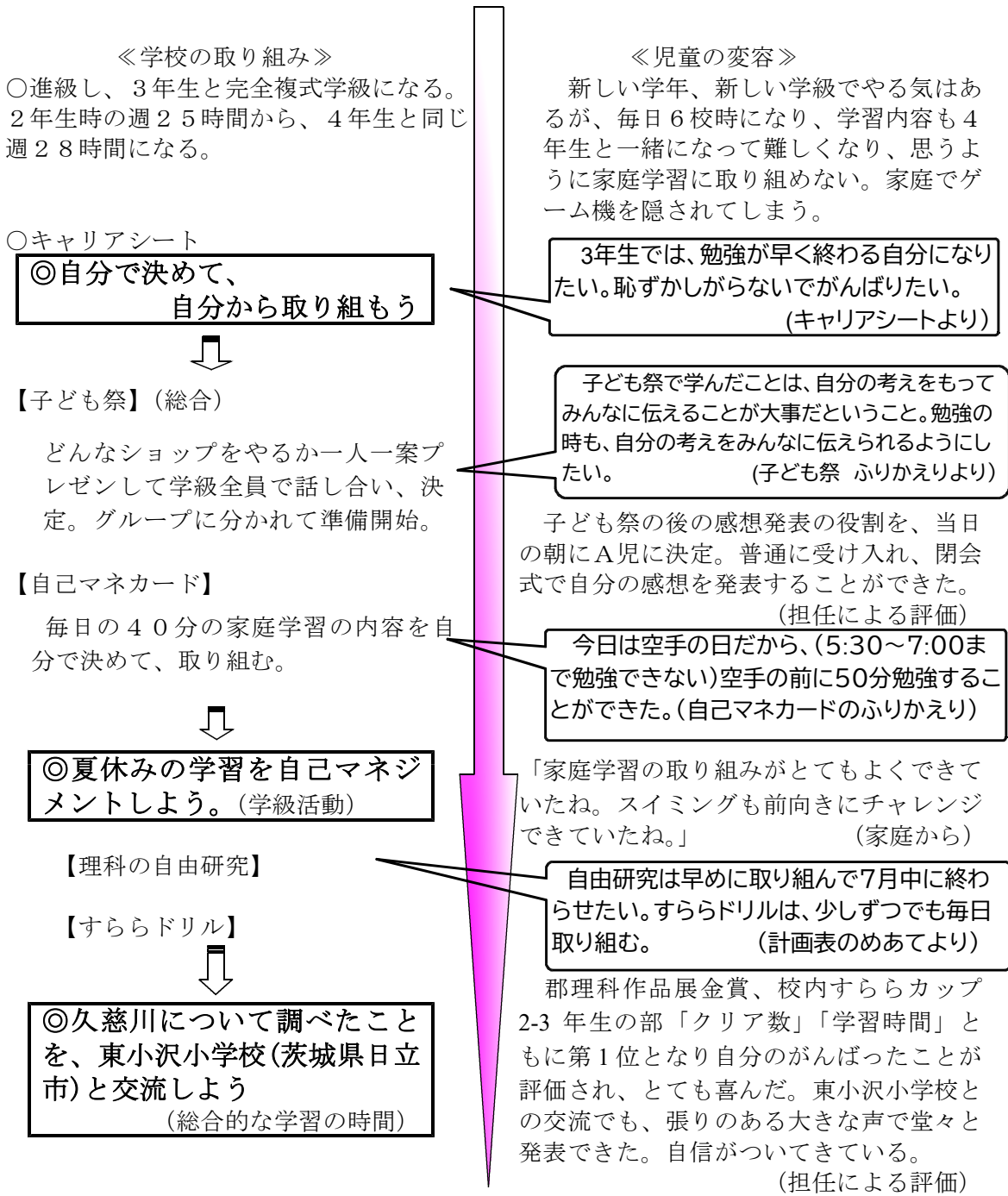
担任のコメント  
近くの前定も少し離れた前定も見通していきましょう

## ICT を活用した教科等横断的な視点での活動

A 児は、1年生時には、自分から進んで行動したり自分の意見を持つのが苦手で、自分の見通しにないことや指名された時など、固まってしまう児童だった。

2年生からタブレットを使用し、発表する時に自分の思いを表す写真を使うことで自分自身もそれを見ながら思いを言葉にしやすくなり、発表への抵抗が薄れてきた。また、各教科にわたり、タブレットで自分の考えを提出し友だちと考えの交流を図る機会が増えたことで、少しずつ自分の考えが持てるようになってきている。しかし、自信が持てないと行動できなかつたり、指示待ちで消極的だつたりするところがある。

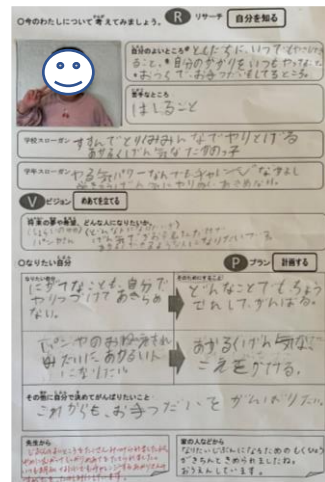
3年生の始めには、なかなか宿題に取り組めず、家庭でゲーム機を取り上げられた。



なりたい自分を意識し、それに向かって努力しようとする児童の姿

## ICTを活用した家庭学習から自己を伸ばすきっかけを得た児童

A 児は、全体的には意欲が高く、特に国語や生活の学習に集中して取り組むことができる。しかし算数には苦手意識があり、ケアレスミスも多く、なかなか正答率アップにつながらない。そのため「どうしたらよいか」を気にする傾向があり、新しい学習や活動が始まってから、軌道にのるまでにやや時間がかかる面がある。これは算数に限ったことではなく、迷いや不安の感情から、何にも手を付けずに時間ばかりが経ってしまう様子も見られた。



夏休み「校内すららカップ」後の変容  
 本校では、A | ドリルを軸として自分で決める家庭学習を行っているが、それを継続して頑張ることで自信をもち、自主学習ノートも算数や関心をもったことに10ページ取り組んだ。

第2四半期（7月～9月）の振り返り

* 自分は変わったかな	どのようにがんばれたか
ステップアップの機会を失 望の向きで終ろう ●なりたい自分が なるために、目 ざりようを立て てきた。	〇「なりたい自分 を思い浮かべ たら、なりたい 自分になるため に、目ざりよう を立ててきた。」
◎自分が立てた目 ざりようにむか って、こうでき た。	◎「自分が立てた 目ざりようにむ かって、こうで きた。」
●「自分が立てた 目ざりようにむ かって、こうで きた。」	◎「自分が立てた 目ざりようにむ かって、こうで きた。」

\*学年スローガン「やる気パワー」安全でもチャレンジ/なかなし学習  
 元気に やりぬく 高き目標を!

〇「自分が立てた目ざりようにむかって、こうできた。」

自分かまをあげたことないものもまた、この夏に  
 〇「自分が立てた目ざりようにむかって、こうできた。」

担任の見取り

- ・授業において、新しい課題にあたって、まずはチャレンジしてみようとする姿に変わってきた。
- ・自主学習への取り組みが意欲的に変わってきた。学習で取り組んだ内容を自分なりに創意工夫して取り組むことができるようになった。
- ・生活科や学校行事などにおいて成功体験を積み重ねたことにより、自信をもって行動できるように変容してきている。

夏休みの頑張りがあらゆるところに波及している。

「にがてなさんすうのじゅぎょうにもむずかしいもんだいやけいさんがあったけど、さいごまでがんばれた。」

「自分がまだやったこともないものやまだできないことにも何でもチャレンジしてがんばった」と第2四半期では振り返っている。

担任のコメント

むずかしいことがあってもさいごまでがんばるすがたは、みていてとてもすばらしかったです。「つぎはこうしたらどうだろう」と新しいことを考えては先生に伝えにきてくれました。・・・と成長を見童にフィードバックしている。



<後期のなりたい自分（目標）>

○なりたい自分	●プラン 計画する
自分のにかてなへんきょうアまじりかりさいごまアかえはる。	いっしょにいじゆいんなでアまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア
じぶんをまてりてけれでアまじりかりさいごまアかえはる。	ふたんにじぶんを見え-からかえはる。

成長は学習発表会などでも見られた。

学習発表会の振り返り

- ・「まちがえてもやりなおして、できたこと」が心に残った。

第3四半期の反省では、矢印が上↑に向いているものもある。本児が達成感を感じていることがよく分かる。

\* 自分は変わったかな

ステップアップの機会を失 防の機会を失	どようががんばれたか
○なりたいじぶんになるた めに、目ひようを立てること ができた。	いっしょにアまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア
○じぶんが立てた目ひよう にむかって、こうどうでき た。	いっしょにアまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア
○「じぶんできめてがんばりた いこと」をがんばれた。	いっしょにアまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア

大学年スローガン「やる気バナー 自分でチャレンジ 自分から学ぶ」

元気があふく

について、じぶんがとくにがんばったと思うことを書きましよう。

わたしはいつでも元気に明るくこうして、アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア

第4四半期にがんばりたいことは何ですか。

アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア  
アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア

じぶんががんばりたいことをいっしょにアまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア  
アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア

アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア  
アまじりかりさいごまアいじゆいんをいっしょにア

自分のにがてなべんきょうでも  
しっかりさいごまでがんばる。



いつもがんばりたいこと  
を頭に入れて考えながら  
こうどうできた。

担任のコメント

じぶんががんばりたいことをしっかりきめて、それをたっせいする力がしっかりみついたんだね！にがてなことでもさいごまでがんばるすがた、わからないことがあったら先生や友だちにしつもんできるすがた、すばらしいなあと思っています。

6年生を送る会では、国語で調べた「子ふやしりレー」を紹介し、全校生で遊んだ。全校生に説明することはとても緊張したが、「みんなが楽しく遊んでくれてよかった。うれしかった。」と話していた。素晴らしい2年生の成長のしめくりであった。



## 児童が参画したカリキュラムマネジメント

今年度の4年生は、昨年度に総合的な学習で行った「かしこく楽しいプロジェクト：エイトタウン(1年生と幼稚園児を招待し、3年生が手作りした物をお店で売って楽しむ)」を基に、高野小学校創立149周年を祝う会と、今までは児童会主体で行うお祭り「こども祭り」を絡ませ、「高野マルシェ」の実施を全校生へ提案した。この提案がきっかけとなり、4年生が主体となって全校生で取り組む総合的な時間を活用したお祭りへと発展した。

### 《4年生の取り組み》

- 令和3年度の総合的な時間の学習
  - ・高野小学校の歴史調べ(創立148年)
  - ・かしこく楽しいプロジェクト「エイトタウン」(お店屋さん)



振り返り・感想

学校創立149年をお祝いする会をやりたい。全校生みんなで楽しみたい。

- 令和4年度の総合的な時間の学習

### ◎「子ども祭り」に高野マルシェを提案をしよう

- ①全校生に zoom を使って提案。
- ②ロイロノートスクールを使って意見を募る。
- ③各学年の同意が得られ、「高野にここマルシェ」に決定した。
- ④各学年2名ずつ実行委員を選出し、4年生が実行委員長を務めることになった。
- ⑤各学年で出店内容を話し合った。  
(各学年2店舗に決定した。)
- ⑥同じ内容にならないように4年生が調整をして準備に取りかかった。



ポスター担当(5年)



宝探し(2年)



しおり作り(3・4年)



ゲーム作り(5年)

### 《児童の思い》

- 「エイトタウン」では、見通しが持たず、教師や友だちの手を借りて準備を終わらせた。しかし、当日の呼びかけや受け答えなどがとても上手で、参加した教師や下級生から褒められた。

(担任による評価)

4年生では下級生の面倒を見られるようになりたい。

全校生で「エイトタウン」をやったらもっと楽しいのではないかな。

1個いくらか売ればよいかを考えて値段を付ける必要があった。

- 4年生による全校生への提案では、代表児童が「伝えたい」という強い思いを持って発表した。(担任による評価)

- 4年生が実行委員長となり、全校生へ放送で連絡をしたりロイロノートで連絡カードを送ったりすることができた。  
(担任による評価)

## ◎高野にこにこマルシェを成功させよう（総合的な学習の時間）



実行委員による進行



開店前の3・4年生



教師もお客さん



ペットボトル再利用した風鈴や  
(6年)

## ◎学級における振り返りの実施

○初めは目立ちたいだけで実行委員長に立候補したけど、実行委員長をやってみたら自分で考えなければならないことがたくさんあって思っていたよりも大変だった。でも、自分が一生懸命やればみんなにちゃんと伝わって、会が成功することが分かった。実行委員長をやって良かったな。(4年生)

### ◎アンケートの実施

子ども祭実施後に児童と教員に変化についてアンケート調査を行った。

児童用 (回答数の多いもののみ)

①自分たちで考え準備した子ども祭をどう思ったか

- ・大変だったが協力できた。
- ・自分たちで考え準備して楽しかった。
- ・自分たちの手で会を作れるんだ。

②子ども祭をやり遂げて前より力が付いたと思うことは何か

- ・自分で決めて自分から取り組むこと。
- ・アイデアを出すこと。
- ・最後まであきらめないでやり遂げること。

### <考察>

子どもが学校運営に参画することにより、ことができると分かった。

今までは教師が考えた行事にただ乗るだけたちの力で実行できると分かり、成功させるなった。

### <他学年児童作文より>

○子どもまつりをしたと思ったことはとても楽しかったということです。りゆうは、みんなできばきとこうどうできたし、たのしいお店がたくさんあったからです。(2年生)

○子ども祭をやってみんなで協力する力やおつりを計算する力を身に付けることができました。呼びかけもできました。うまくできたことをこれからの生活に生かしたいです。(5年生)

教師用 (回答数の多いもののみ)

①子どもたちにどんな力が付いたと思うか

- ・子ども同士話し合いながら決めること
- ・自分で決めて自分から取り組むこと。
- ・自分たちで計画を立てて取り組むこと。

よりよい学校を作ろうとする意識を持つ

だった子どもが、アイデアを出せば自分のために先を見通しより深く考えるように

**成功させるために先を見通し、より深く考え行動する姿**

## 児童の「学びたい」を形にしたカリキュラム・マネジメント

6年 「知ろう！感じよう！創り出そう！未来の福島を考えるプロジェクト」

5年時・・・セカンドスクールで震災学習を行い、富岡町3・11を語る会の語り人から東日本大震災について学ぶ。その中、富岡町立小学校の三春校が令和4年3月に閉所することを知り、映像発表会参加やオンライン交流を行う。その学びの中で、児童は「彼女たちのふるさとに行ってみよう」という思いをもち、その思いを修学旅行の企画立案に生かしたり、6年次の総合的な学習の時間のカリキュラムを考えたりした。



児童の思いをくみ取って、担任がSDGsを軸にした6年総合を立案

福島県教育庁社会教育課の事業に応募し、補助を受ける。

①SDGsの全般を学ぶために、福島市NPO法人「ビーンズふくしま」江藤大裕氏に講演を依頼。

◇活動開始後の児童の思い◇

SDGsの17の目標をクリアしたい。他の県の被災者にも福島の実力を伝えたい。(6年女子)

②(株)ユニクロと「届けよう、服のチカラプロジェクト」を展開し、保護者・他学年・教職員・地域・企業を巻き込んで活動する。



③5年生から続けてきた震災学習を修学旅行で終結



④福島大学 客員教授 天野和彦氏に学びをコーディネートしていただき、震災学習を持続可能な高野地区の未来へと学びをつなげる。



⑤学習発表会での発表(自分たちで発表内容を考え、形にする)

⑥ペイフォワードカフェの開催



◇活動終了後の感想より◇

震災でふるさとを奪われた方々がなぜここまでしてふるさとの復興に励みたいのか、すごく分かった気がしました。どんな国でも、どんな町でもふるさとを残したいという思いは同じなのだと感じました。(6年同女子)

・・・学びを通して、考えが深まった。社会教育課事前・事後アンケート結果では、「小さな失敗を恐れない」3.0→4.3 「自分の課題を見つけることができる」3.3→4.4 「今住んでいる町をもっとよくしたい」4.2→4.7 と学びによって成長したことが分かる。

⑦最後は、「人」に焦点を当てた「今の高野を残したい」という思いから動画を作成。卒業前の上映会に向けて、活動を継続し、3月18日(土)地域へ動画のお披露目会を行う。

持続可能な高野の未来のために自分たちができること



概要

世界

福島

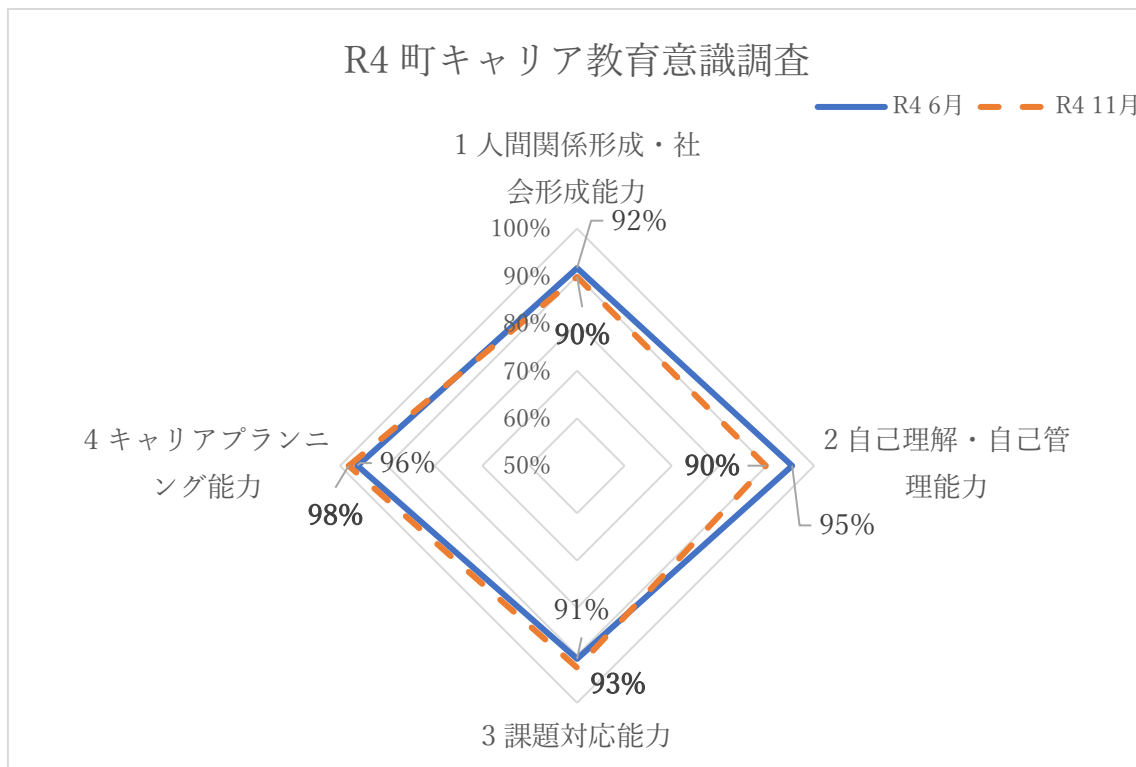
故郷



◇成果と課題

① 各種調査結果から

今年度、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」の資質・能力を伸ばすために、あらゆる手立てを講じてきたが、町キャリア教育意識調査アンケートの結果は下記のとおりである。



本校の6月と11月を比較すると、

		R4 6月	R4 11月	増減
1	人間関係形成・社会形成能力	92%	90%	- 2
2	自己理解・自己管理能力	95%	90%	- 5
3	課題対応能力	91%	93%	+ 2
4	キャリアプランニング能力	96%	98%	+ 2

表のように、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」が児童の中で、自己評価が高くなかったことが分かる。それは、四半期ごとにPDCAサイクルを回す中で、自分を客観的に見ることができてきたからではないかと考えている。よりよい自分になるためには、さらに高みへと成長したい現れと思われる。現に、記述内容が4月よりどんどん具体的になっており、担任との対話の中で、自分を見つめるきっかけやできたことの強化が起こっていると思われる。

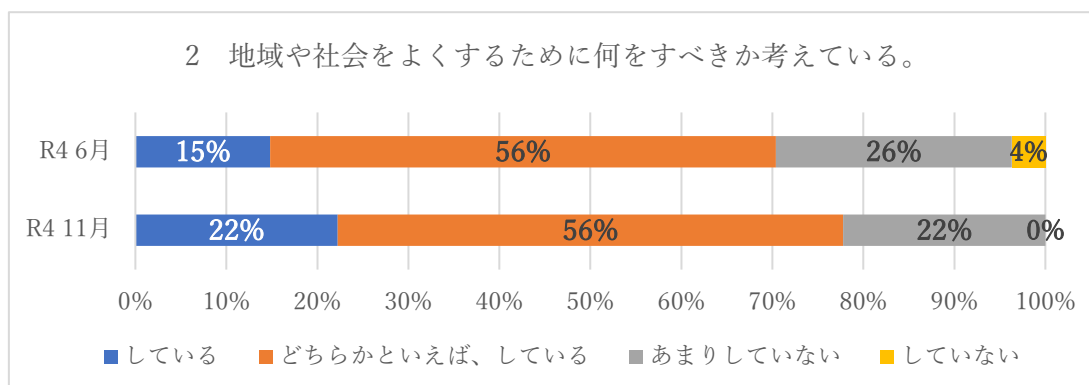
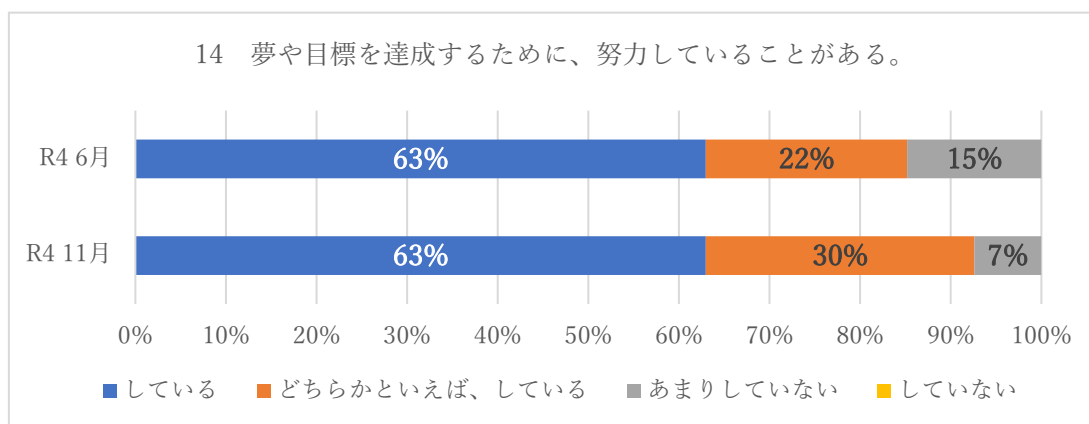
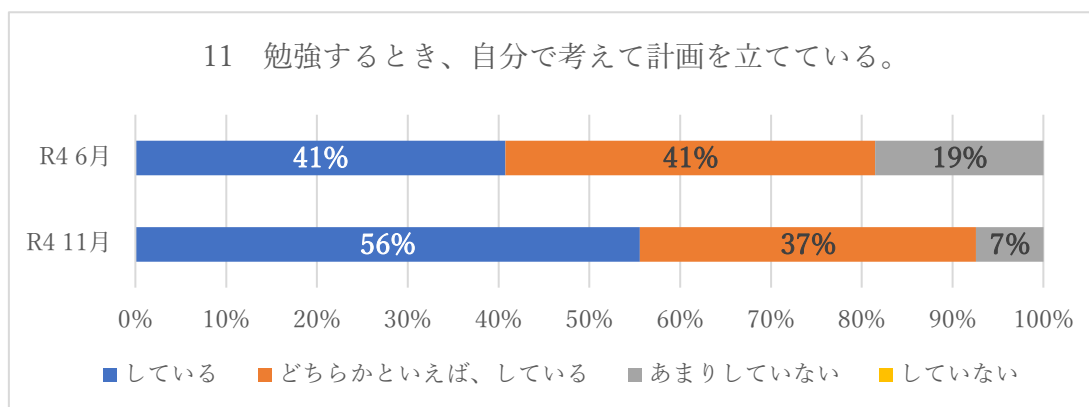
その理由の一つが項目一つ一つを丁寧に見ていくと、本校が重点的に取り組んできた項目に関して伸びが見られることである。。

「自分で決める」活動の日常化を重点目標に掲げてきたが、それは、家庭学習においても

同様であり、自己マネカードや自己マネタイムを活用し、それを担任と児童の対話を基に進めた成果が現れている。キャリアカウンセリングを年度初めに町の研修で学び、受容的で児童に寄り添う言葉かけの数々が功を奏している。「ほめる」だけでなく、「肯定的に」児童を見ていくことに教師も児童も心地よさを感じているのではないかと思う。

継続した支援の成果は標準学力調査など諸調査でも見られた。意欲面において、最後まで解こうという意欲の持続が見られたことや、条件に合っていないため正解にはならないとしても、内容面でキャリアや学校生活を振り返って書くことができている児童が多かった。

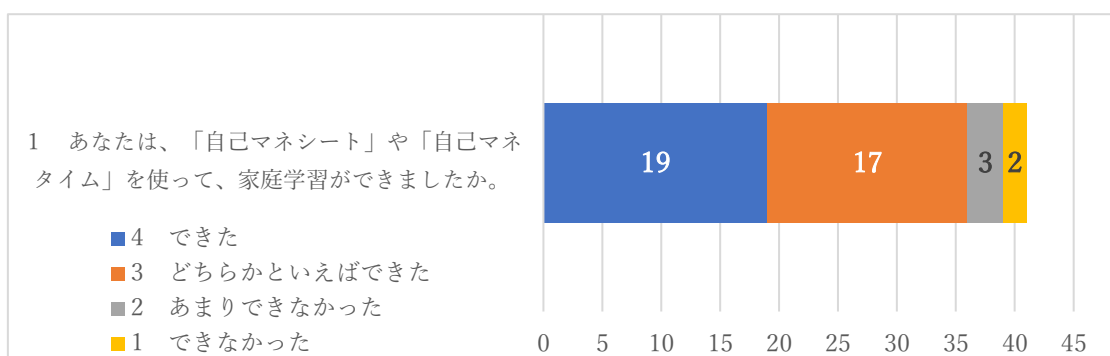
次は、町のキャリア教育意識調査での比較である。



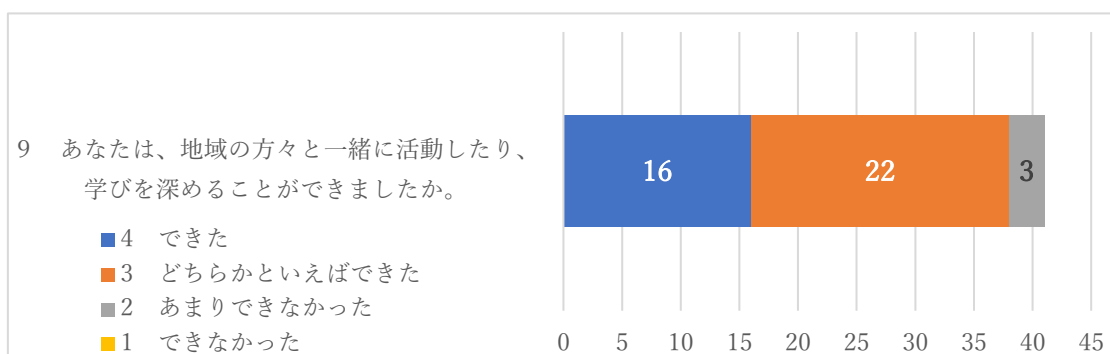
上記の結果から、本校で1年間取り組んできた「自分で決める」活動の日常化における学習の側面、そして、地域と協働して探究的な学びを深めてきた効果があったと考える。

次に Q—U テストからであるが、わずかな増ではあるが、学級生活満足群が 80%（6 月調査）→85%（11 月調査）に上昇した。その結果からも温和で否定しない対話的な関わりが児童の基礎的・汎用的能力を育てるために必要であったと確信した。

最後に、学校評価（年間）からであるが、



88%の児童が肯定的な回答を寄せている。児童も毎日の学校生活の中で、「活用できた」という気持ちを抱くことができた。教職員も「100%が支援した」と答えており、本校の核となる活動であったと言える。



地域の方々との探究的な学びについては、93%の児童が肯定的に捉え、今年度、高野地区をはじめ、昨年度以上の方々に講師を務めていただいたが、学力向上の点だけではなく、非認知能力の面からも育てていただいた。教職員や保護者と違い、「いつもと違う大人」から自分の学びや行動、人となりを褒めていただく機会、声をかけていただく機会、人間関係を構築する体験をする機会をいただいたと思う。過小規模校の本校にとって、大変ありがたいことだったと考える。

## ② 令和5年度に向けての課題

さらに、児童数・教職員数が減る中でどのような学校教育を展開していくか、まさに過渡期であると考え。カリキュラム・マネジメントを管理職だけではなく、教職員が工夫を凝らし行うこと、児童が参画することが本校のスタンダードになってきたことが財産である。それをどのように負担なく継続していけるかをこれからの課題として考えていきたい。